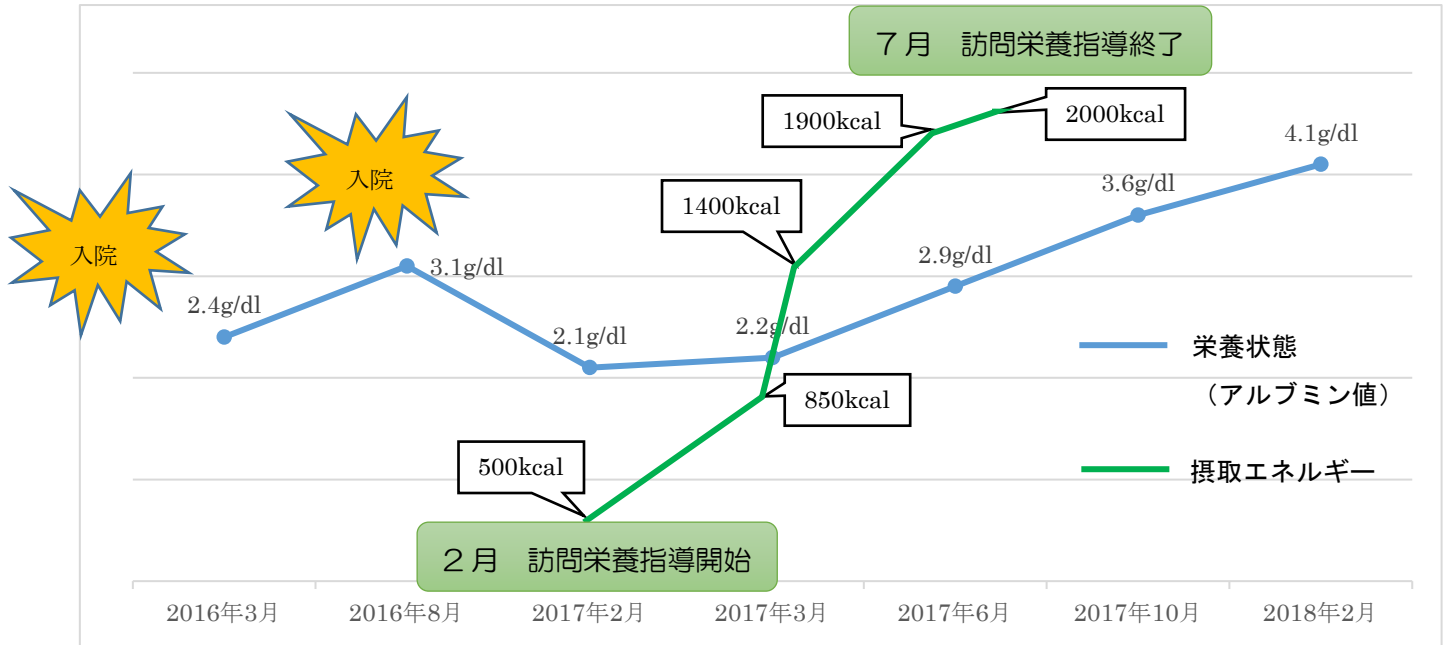


訪問リハビリ事例紹介 ～身体リハビリ+訪問栄養指導～

新潟南病院 訪問リハビリでの一例



胃を切除する手術を受けている60代後半の男性。食事量が徐々に低下し、入院。退院後より訪問リハビリが開始となり、栄養状態の低下に対して訪問栄養指導も併用。



2016年2月 訪問リハビリ開始

「自宅内動作ができるようになる」

屋外歩行
歩行器

介助で移動
自宅内での
生活

自宅内
伝い歩き

医師より
積極的な運動中止
の指示

医師より
運動許可

屋外歩行
歩行器 → 杖

卒業

グラフからは栄養状態が低下すると運動機能、生活レベルも低下し、逆に栄養状態が良くなると運動機能、生活レベルが改善していることがわかります。

身体機能が向上すると、自信が持てるようになり、目標も自宅内での生活から「釣りに行く」という外に目を向けたものになっていきました。

最終的には屋外杖歩行可能となったため、訪問診療から外来通院可能となり、訪問リハビリを卒業することができました。



新潟南病院 訪問リハビリテーション

*お気軽にご相談下さい。

〒950-8601 新潟市中央区鳥屋野 2007 番地 6

電話：025-284-2511 FAX：025-284-2080



facebook

SNS でも情報配信を行っています!

Instagram



MINAMI.HOUMONREHA